

※新型コロナウイルス感染防止のため、「新しい生活様式」の励行を図っています。ご協力をお願い致します。

※「自問タイム」として、「下野新聞読者登壇」(10代の声)への投稿に挑戦しています。是非ご覧下さい!

→これまで、都賀中生62名(延べ67作品)が掲載されています。(2/8現在)



学校だより 若竹

学校教育目標「自ら学び考え行動する生徒」
スローガン～やる気・笑顔・感謝～

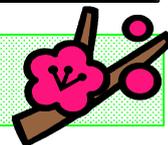


2月号 (第10号)

令和5年2月10日

都賀中学校長 倉井 誠(文責)

冬から春へ .. 日差しも強くなり、春の匂いがしてきました。



1月20日の「大寒」が過ぎ、2月3日は「節分」、そして翌日は「立春」でした。一年で最も寒いと言われるこの時期には、「寒仕込み」「寒稽古」という言葉もあります。新型コロナウイルスやインフルエンザ感染症の心配がある中ですが、何とか乗り越えています。

「立春」は、冬と春の分かれる「節分」の翌日のことで、「寒さが明けて、これから春に入る」という日です。しかし、まだまだ寒い日も多く、春が待ち遠しく感じられます。それでも花の蕾は固いながらも確実に膨らみ始め、春に向けた営みが随所で見られるようになってきます。

いよいよ3学期も中盤にさしかかり、学校では、近づいている春の便りとともに、本年度の締めくくりと新年度に向けての準備で忙しい中にも希望が膨らむ時期を迎えています。

3年生は、多くの生徒が私立高校の入試を終え、県立高校の受験に向けた学習、そして卒業に向けての準備も始まろうとしています。2年生は、立志記念スキー宿泊学習も無事実施でき、大変実りある行事となり、志を新たにすることもできたようです。また、1年生も先輩になることを意識しながら、心構えや準備をしています。

新型コロナウイルスに加え、インフルエンザの流行が心配され、油断が許されない状況が続いており、今後も行事の変更や実施に伴う時間短縮、規模縮小等の制限を余儀なくされる恐れもありますが、それぞれの学年が今年度の締めくくりや次年度の準備に向けて、充実した学校生活を送らせていきたいと思っております。今後とも、本校教育に対しまして、温かいご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

令和4年度学校評価のまとめ

先月の学校だよりで、「学校評価」(概要)をお知らせしたところですが、その結果を受けて、成果と課題及び今後の取組について、以下のようにまとめました。

本校教育のますますの充実のために、職員一丸となって真摯に取り組んで参りますので、今後とも本校教育に対しまして、ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

1 成果

○常に元気で活発な生徒

生徒の評価は、アンケート7項目中5項目で、4点中3.5以上の結果が出ている。昨年の成果を継続し、職員や生徒が健康や安全面について意識を高くもって行動することができた。

学校行事については、コロナ感染対策を講じながら実施することができた。保護者への公開も制限こそあったものの昨年よりは機会も増やすことができた。また、部活動についても、大会やコンクール等で生徒の活躍の場が多く、生き生きと活動する生徒の姿が見られたことから保護者の評価も高かった。教職員が居心地のよい集団づくりにおいて努力したこともこれらの結果につながっていると思われる。

○優しい気持ちを持ち、人に寄り添える生徒

生徒が思いやりの心をもっていることについて、保護者の評価はやや低くなったが、生徒自身は3年間高い結果が出ている。教職員もいじめや暴力のない学校づくりや、心の教育の充実に努め、生徒一人一人に愛情をもって接していることが成果となっている。

○自ら意欲を持って学習に取り組む生徒

今年度は市指定の学力向上研究最終年度で、3年生数学と2年生理科で研究授業を公開した。学びに向かう生徒の姿や、ICTを効果的に活用した教師の指導に多くの参観者からお褒めの言葉をいただいた。

3年間の研究の成果を今後も継続できるよう、学習指導主任を中心に、組織的に自ら意欲を持って学習に取り組む生徒の育成に努めたい。



2 課題

○常に元気で活発な生徒

「学校が子どもにとって居がいのある充実した場所」という項目で保護者の回答が2年連続低下したが、逆に教職員は昨年より高い評価であった。少しずつコロナ前の状態に戻つつある学校生活ではあるが、給食の黙食やマスクなしの生活は継続されており、行事で歌を歌うこともできていないことなどが影響を受けていると思われる。

○優しい気持ちを持ち、人に寄り添える生徒

「先生は親身になって相談に乗ってくれる」という項目で、生徒と保護者の評価が伸び悩んでいる。相談の内容によっては、時間をかけて繰り返し対応する場面も必要であることが求められていると思われる。

○自ら意欲を持って学習に取り組む生徒

家庭学習で「2・2・3学習」の定着を図ることを目的に、今年度新たに項目を設けたところ、三者と

もかなり評価が低い結果となった。生徒の実態や保護者の思いを把握して、工夫改善していく必要がある。

○連携

一斉メールや電話の手段は連携を取りやすいが、各種たよりや、ホームページの情報発信が保護者に浸透されていない。

3 成果と課題を踏まえた今後の取組

○常に元気で活発な生徒

学校生活の中に、学習のみならず「できた・わかった・楽しい」と感じることでできる場を提供し、自信を持たせるようにする。保護者や地域の方々と元気にあいさつをしたり、ふれあったりする機会を増やし、学校・家庭・地域との絆を深めていくことが、元気で活発な生徒の育成につながると思う。

○優しい気持ちを持ち、人に寄り添える生徒

教育相談の充実や日記等の担任によるコメントなどを通して、生徒と教職員の良好な人間関係が築けるように努める。

教職員の生徒に対する言動について、例えば呼名についても「さん付け」にするなどの配慮を心掛ける。温かい雰囲気の中で生徒が安心して学校生活を送ることができるようにしていくことが大切である。

○自ら意欲を持って学習に取り組む生徒

毎週1回タブレットを持ち帰り、家庭学習で活用している。効果的な家庭学習を生徒の実態に合わせて提示できるよう学習指導主任を中心に全職員で検討していく必要がある。授業では学び合いの質を更に高め、主体的で協働的な学びが充実したものとなるよう指導法の工夫に努めたい。

○連携

今年度よりHP作成は、教職員が輪番制で作成している。周知の工夫が不十分であるため、年度当初から積極的にPRできるように対策を講じていきたい。また、内容を充実させることで、保護者・地域へ学校の様子を広めていきたい。

「自ら学び考え行動する生徒」(学校教育目標)の実現のために

本校の学校教育目標「自ら学び行動する生徒」の実現のために、入学式などの儀式的行事や全校集会、学校行事など、機会を捉えて、関連した話をするようにしています。

そして、自己内対話をし、自分と向き合う時間を確保し、書くことを通して、この達成のために「自己実現タイム」を設定(毎月1回、朝の活動の時間や清掃後の学習の時間)し、下野新聞読者登壇「10代の声」に投稿をする活動をしています。

今後この取組を継続し、学校教育目標「自ら学び行動する生徒」の実現のために、支援できればと考えています。掲載されることが目的ではありませんが、本校生徒の作品がたくさん掲載されていますので、以下に紹介します。(2/8現在)

- 3年生: ****さん(2)、****さん(2)、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん(2)、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん(延べ26名)
- 2年生: ****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん、****さん(2)、****さん、****さん(延べ19名)
- 1年生: ****さん(2)、****さん(延べ22名)

第62回卒業証書授与式について

3月13日(月)、本校体育館にて挙行いたします。今般の新型コロナウイルス感染症防止のため、**本校職員、生徒、保護者(3年生)のみ**で実施いたします。

大変残念ですが、ご来賓の皆様のご列席につきましては、本年度も予定はございません。本来ならば、卒業生の晴れ姿を見て頂き、はなむけのお言葉を頂きたいところではありますが、何卒ご理解を頂くとともに、今後とも温かいご支援を賜りますようお願い致します。



【まことく】その8



～私の一番好きな季節「立春」を迎えて～

2023年、令和5年が幕開けしたと思ったら、あっという間に2月を迎えてしまいました。3学期は本当に時が経つのを早く感じます。

さて、皆さんは一年のうちどの季節が好きですか？私は、「立春」の頃の時期が一番好きな季節です。まだまだ寒さはありますが、日も少しずつ長くなってきているのを感じますし、春に向かう土の匂いがとても好きです。そして、辺り一面の麦は、たくましく育ち、青さを増してきます。

「二月は逃げる」、「三月は去る」などと言われ、あっという間に時間が過ぎてしまい、何かと慌ただしい時期ですが、春の4月に向けて、自然の豊かさを感じながら、日々を過ごしていきたく思います。

いよいよ、卒業、進学、進級の時期を迎えます。この節目にあたる「節」を、さらによりたく、力強いものにするために、是非、「ありがたい」(有り難い)、「おかげ(さま)」の気持ちをもって、「物事の一つ一つを見つめ直して」生活してみてください。きっと、今までとは違う何かや改善策が発見できたり、毎日の生活態度に変容がみられたりするかも知れません。皆さんのさらなる成長と卒業後や進級後の活躍を心から願っています。

※「まことく」は、「誠の話」をさせていただきます。